

今後の天候について

2015/11/13

株式会社ウェザーマップ

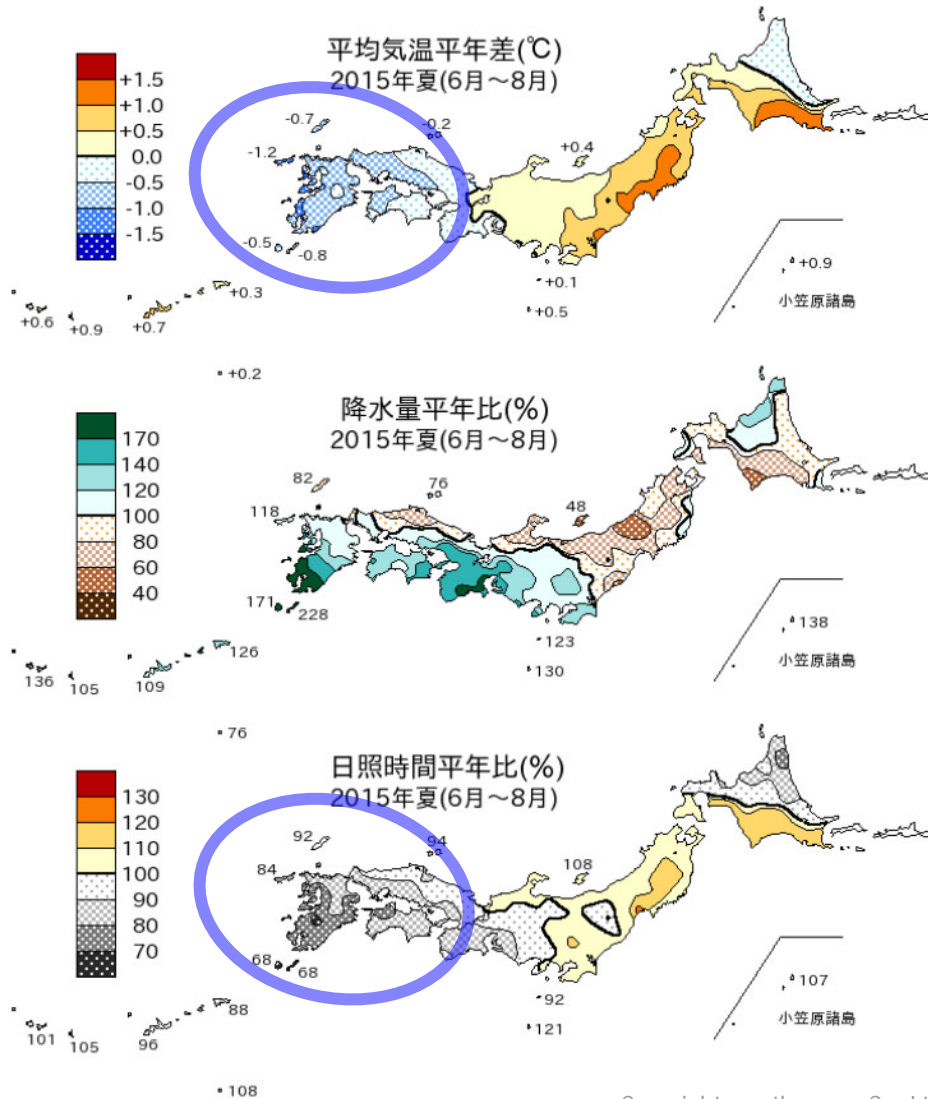
107-0052 東京都港区赤坂5-4-9 いちご赤坂五丁目ビル6F

TEL:03-3224-1785/FAX:03-3224-1786

<http://www.weathermap.co.jp/>



今夏（6～8月）のまとめ

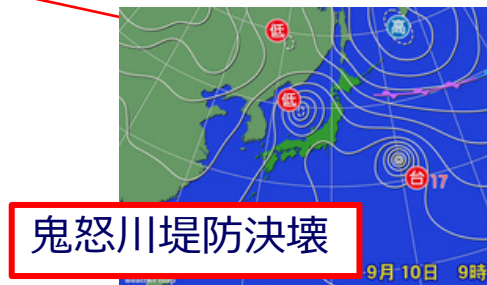
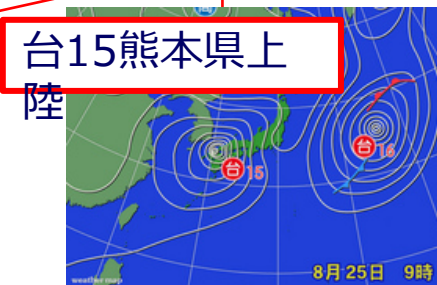
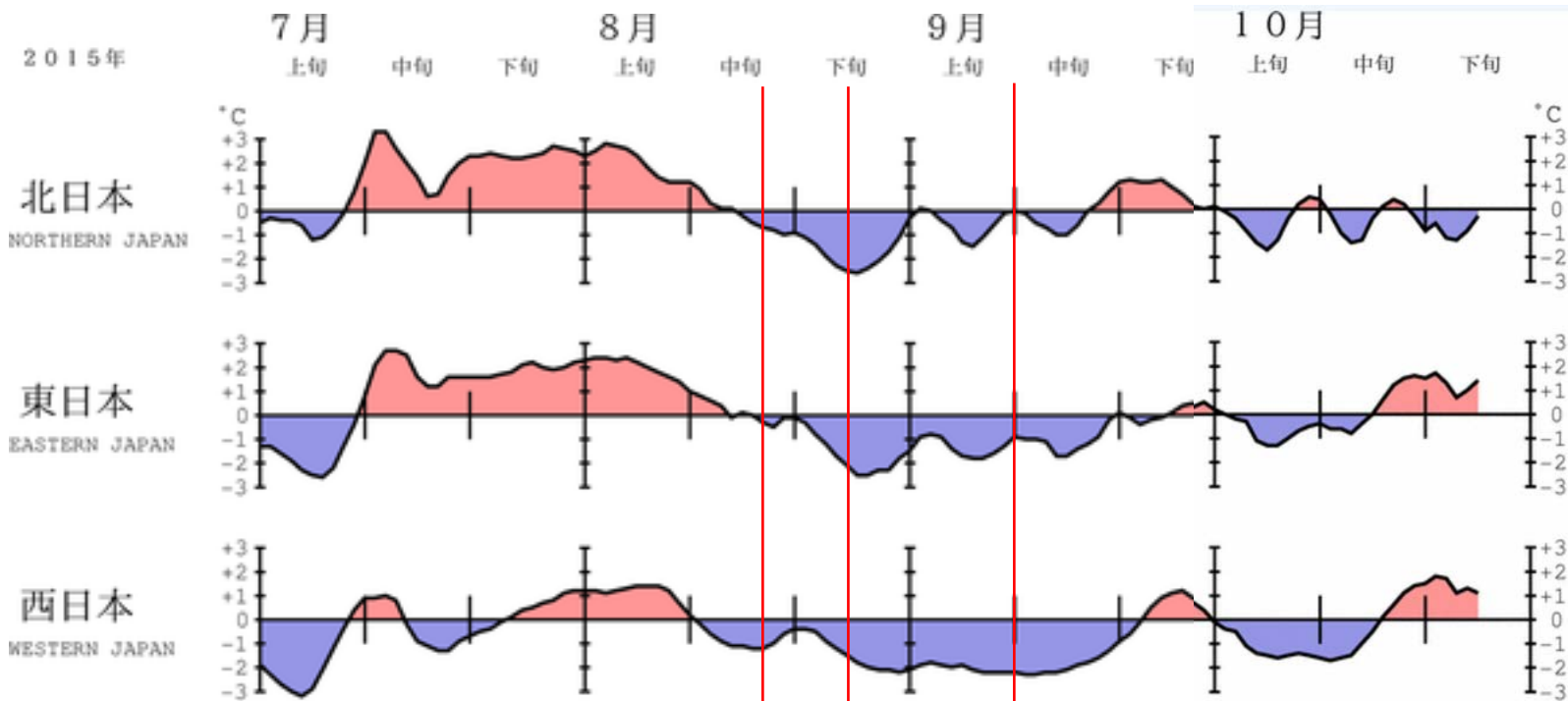


- 北日本で暑夏、西日本は冷夏。
- 降水量は、西日本の太平洋側でかなり多く、東日本の日本海側でかなり少なかった。
- 日照時間は、西日本の太平洋側でかなり少なかった。

本州付近に前線が停滞。
台風15号、17号、18号が影響。
↓
エルニーニョ現象の影響が出始める

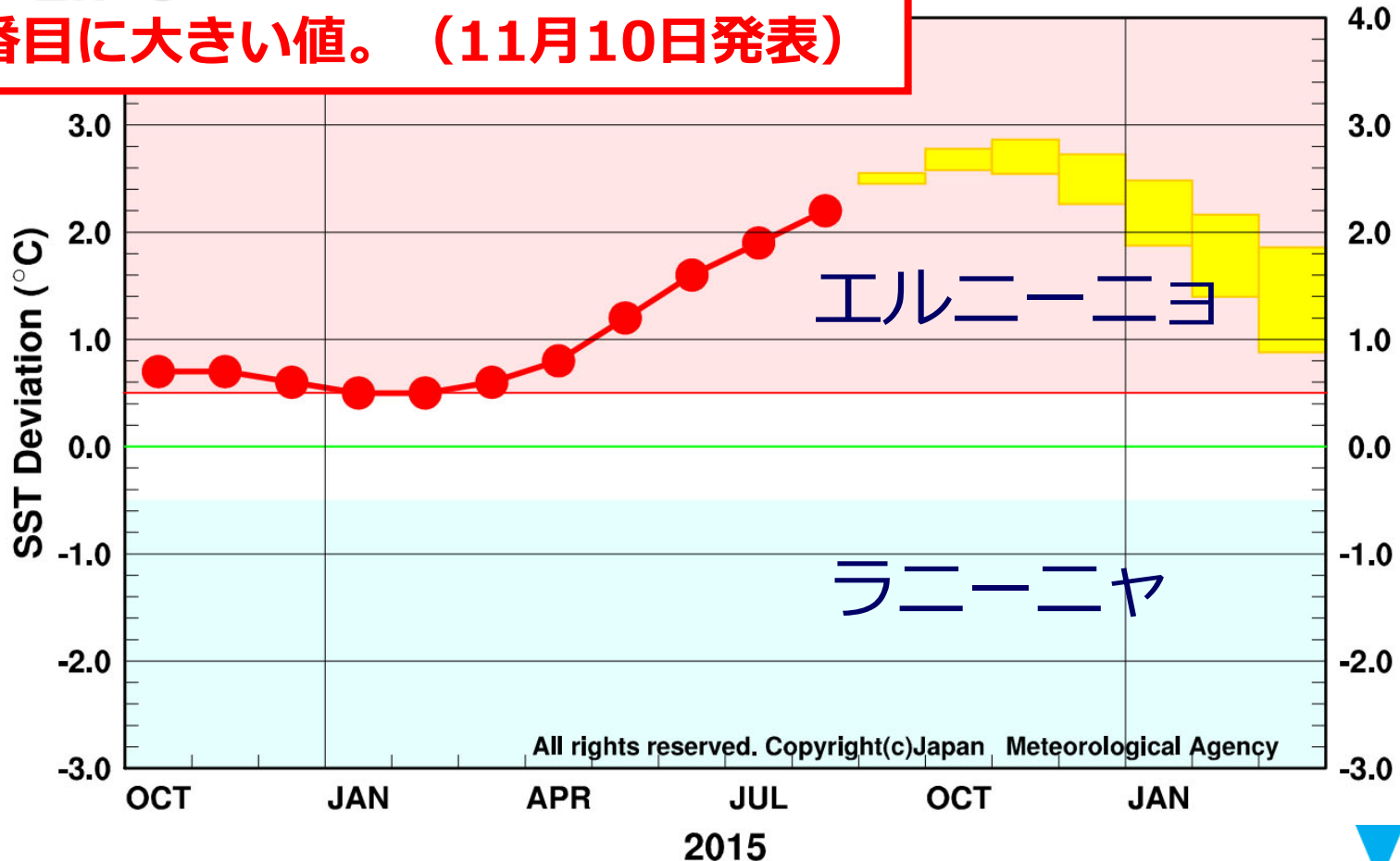


気温経過 (地域平均気温平年偏差の5日移動平均時系列)



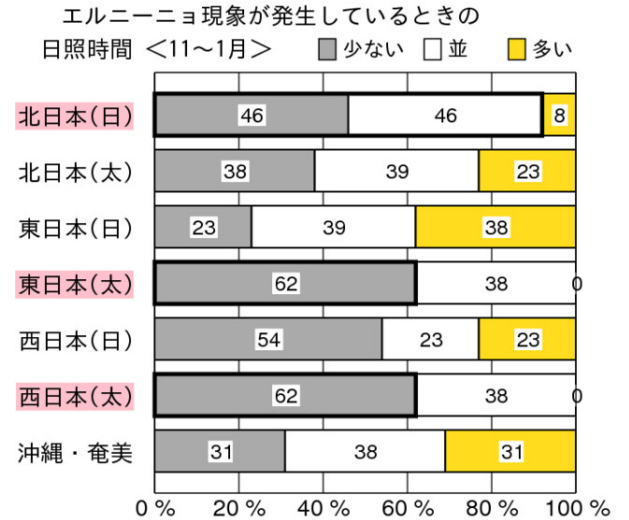
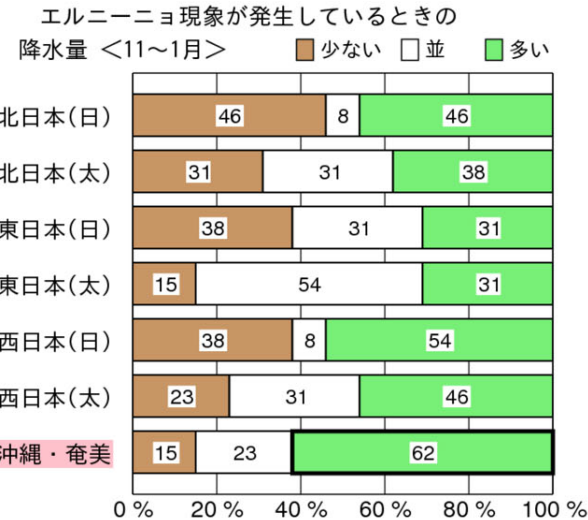
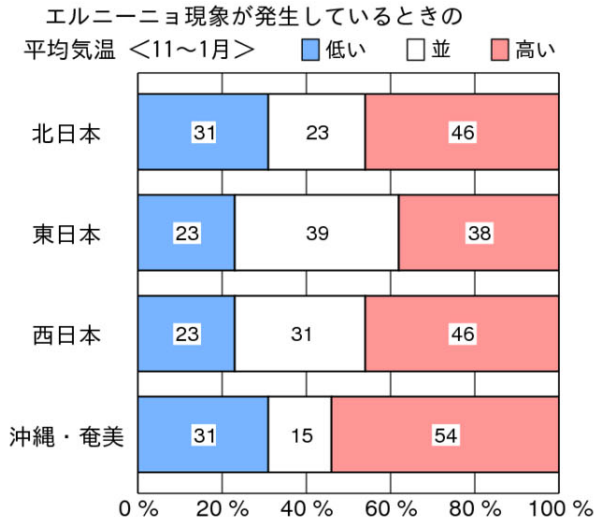


10月の監視海域の海面水温は基準値との差が+2.7℃で、10月としては1950年以降2番目に大きい値。（11月10日発表）





エルニーニョ現象発生時の11～1月の天候の特徴



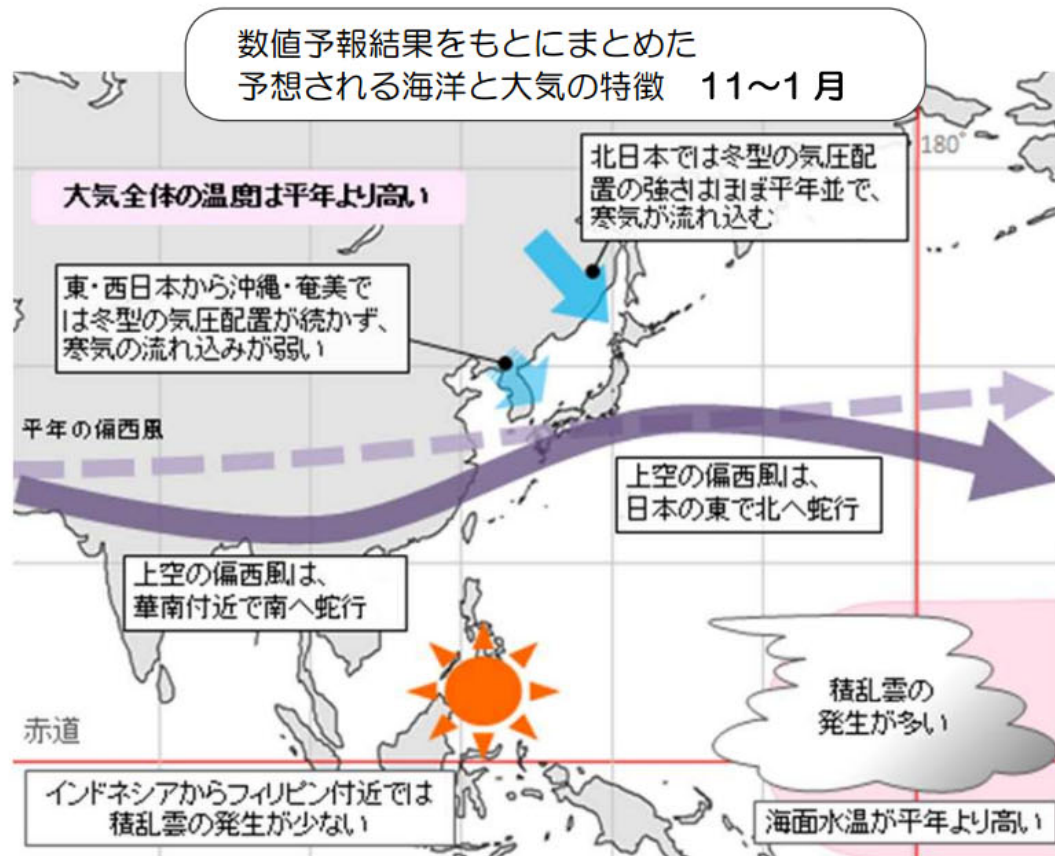
エルニーニョ現象発生時の11～1月の天候の特徴（計期間：1958年～2012年。棒グラフ上の数字は出現率を示す。）
地域名の赤い帯と棒グラフの太黒枠は統計的に有意な傾向を示す。

- 平均気温は、傾向なし。
- 降水量は、沖縄・奄美で多い傾向。
- 日照時間は、東・西日本の太平洋側で少ない傾向。
北日本の日本海側では平年並みか少ない傾向。

海洋と大気の特徴 (11~1月)

予想される海洋と大気の特徴

- 熱帯から中緯度にかけて、大気全体の温度が高い状態が続く見込みです。
- 熱帯の海面水温は、太平洋の日付変更線付近から東部にかけて平年より高く、エルニーニョ現象が続く見込みです。この付近では積乱雲の発生が多いでしょう。一方、インドネシアからフィリピン付近では積乱雲の発生が少ないでしょう。
- 上空の偏西風は、華南付近で南に、日本の東で北に蛇行するため、東・西日本から沖縄・奄美では冬型の気圧配置が続かず、寒気の流れ込みが弱いでしょう。また、北・東日本太平洋側、西日本、沖縄・奄美では、低気圧や前線の影響を受けやすいでしょう。





11~1月の予報（平均気温）

	平均気温 11月	平均気温 12月	平均気温 1月
北日本	低 30 並 30 高 40% ほぼ平年並の見込み	低 30 並 30 高 40% ほぼ平年並の見込み	低 30 並 40 高 30% ほぼ平年並の見込み
東日本	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い見込み	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い見込み	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い見込み
西日本	低 20 並 30 高 50% 高い見込み	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い見込み	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い見込み
沖縄・奄美	低 20 並 30 高 50% 高い見込み	低 20 並 30 高 50% 高い見込み	低 20 並 30 高 50% 高い見込み

	平均気温 11月	平均気温 12月	平均気温 1月
北日本			
西日本			
東日本			
沖縄・奄美			

数値は予想される出現確率です

低い確率(%) 50 40 40 50 高い確率(%)

平年並か40





11~1月の予報 (降水量)

		降水量 11月	降水量 12月	降水量 1月
北日本	日本海側	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並の見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並が多い見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない見込み
	太平洋側	少 20 並 40 多 40% 平年並が多い見込み	少 20 並 30 多 50% 多い見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並が多い見込み
西日本	日本海側	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並の見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並が多い見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	少 20 並 40 多 40% 平年並が多い見込み	少 20 並 30 多 50% 多い見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並が多い見込み
沖縄・奄美		少 20 並 40 多 40% 平年並が多い見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並が多い見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並が多い見込み

↑

数値は予想される出現確率です

降水量 11月

降水量 12月

降水量 1月



近年の冬の特徴

最近 10 年間の冬の特徴

年	冬の平均気温 平年差℃（階級）				冬の天候の特徴
	北日本	東日本	西日本	沖縄・奄美	
2005/'06	-0.8 (-)	-1.0 (-)	-0.8 (-)	0.0 (0)	“平成 18 年豪雪” 12 月から 1 月上旬にかけて強い冬型
2006/'07	1.4 (++)	1.5 (++)	1.4 (++)	0.9 (+)	記録的暖冬 冬型現れにくく、南岸低発達しながら北上
2007/'08	-0.3 (0)	-0.2 (-)	0.1 (0)	0.3 (+)	冬型一時的で南岸低多い 気温の変動大
2008/'09	1.4 (++)	1.3 (++)	0.9 (+)	0.8 (+)	冬型の気圧配置となる日が少なく、全国高温
2009/'10	0.4 (0)	0.6 (+)	0.7 (+)	0.4 (+)	全国で気温の変動大 北陸中心に大雪の時期が 3 回
2010/'11	0.6 (+)	0.2 (0)	-0.4 (-)	-0.8 (-)	12 月末～1 月末日本海側で大雪、低温
2011/'12	-1.3 (-)	-0.9 (-)	-0.7 (-)	0.0 (0)	冬型多く、北～西日本は 3 か月連続低温 最近 10 年間では“平成 18 年豪雪”に次ぐ積雪
2012/'13	-1.2 (-)	-0.9 (-)	-0.7 (-)	0.4 (+)	北・東・西日本で低温 北日本日本海側を中心に多雪
2013/'14	0.2 (0)	-0.2 (-)	-0.1 (0)	-0.3 (-)	東日本、沖縄・奄美で低温 2 月に関東甲信で記録的大雪 日本海側の平地は少雪
2014/'15	0.8 (+)	-0.2 (-)	-0.2 (-)	-0.5 (-)	12 月は全国的に強い寒気が流れ込むが、1 月以降は少雪

「2014/'15」は 2014 年 12 月～2015 年 2 月のことです

階級 --: かなり低い -: 低い 0: 平年並 +: 高い ++: かなり高い

近年の冬の降雪量（日本海側）

年	冬の降雪量 平年比%（階級）				
	北海道日本海側	東北日本海側	北陸	近畿日本海側	山陰
2005/'06	105 (+)	111 (+)	100 (0)	142 (+)	121 (+)
2006/'07	72 (--)	33 (--)	10 (--)	15 (--)	24 (--)
2007/'08	86 (--)	78 (-)	53 (-)	65 (-)	66 (-)
2008/'09	90 (-)	66 (--)	37 (--)	50 (-)	65 (-)
2009/'10	95 (-)	79 (-)	91 (0)	41 (--)	43 (--)
2010/'11	93 (-)	93 (0)	95 (0)	93 (0)	174 (+)
2011/'12	98 (0)	102 (0)	115 (+)	136 (+)	158 (+)
2012/'13	100 (0)	112 (+)	82 (0)	85 (0)	64 (-)
2013/'14	80 (--)	77 (-)	34 (--)	46 (-)	58 (-)
2014/'15	73 (--)	77 (-)	71 (-)	77 (0)	66 (-)

「2014/'15」は2014年12月～2015年2月のことです

階級 --：かなり低い -：低い 0：平年並 +：高い ++：かなり高い



まとめ (11~1月の予想)

【気温・降水量】東・西日本で**高温・多雨**傾向。

冬型の気圧配置が続かず、寒気の影響が小さいため、高温傾向。また、低気圧や前線の影響を受けやすくなるため東・西日本の太平洋側で降水量が多く、北日本の太平洋側と西日本の日本海側でも平年並みか多くなる見込み。

【降雪量】北日本日本海側の降雪量は平年並み。

北日本では、寒気の影響も受けるが、勢力は平年並み。

※寒気の動向に関連する北極振動の予想は

今後的一か月予報や異常天候早期警戒情報などを要確認。